

JIS作成予定(一覧表)(制定案)

2026年8月18日現在

認定機関	産業標準作成委員会	制定／改正／廃止	規格番号 (制定の場合は、仮の番号)	JIS案の名称	JIS案の英文名称	制定する理由(必要性)	期待効果	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	対応する国際規格との対応の程度	選定基準1 (JIS法第2条の産業標準化の対象)	選定基準2 (JIS法第1条の法律の目的)	選定基準3 (産業標準化の利点・欠点)	選定基準4 (国が主体的に取り組む分野の判断基準)	選定基準5 (市場適合性に関する判断基準)	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始予定	ICS番号	作業段階
JSA	01 基本	制定	B0628	製品の幾何特性仕様(GPS)－製造管理のための幾何特性の分解	Geometrical prduct specifications (GPS)－Decomposition of geometrical characteristics for manufacturing control	【制定・改正する理由(必要性)】 図面に指示されたGPS仕様(サイズ、形状、位置、姿勢などの製品の幾何特性仕様)を満足するために、製造工程で製品が加工されて仕上げられる。その後、仕上がった状態が図示された仕様を満足しているかを検証するために、さまざまな測定が実施される。 測定で得られた結果には、形状の偏差・姿勢の偏差・位置の偏差などの複数の成分が含まれている。ISO 20170は、測定結果(形状の偏差・姿勢の偏差・位置の偏差のそれぞれの成分を求める前、すなわち分解前の状態)から、対象物のサイズ(寸法)、形状の偏差・姿勢の偏差・位置の偏差の各成分に分解して、それぞれの値を、製造工程にフィードバックして、製造工程を管理する手法を標準化したものである。国内製造業の製造管理の向上、国際整合化を図るため、ISO 20170を基にしたJISを制定する必要がある。	【期待効果】 製造工程の信頼性を向上させ、高効率化が期待できる。また、部品そのものの互換性、高精度化に寄与できる。	主な規定項目は、次のとおり。 ・適用範囲 ・引用規格 ・用語及び定義 ・記号 ・原則		ISO 20170:2019 Geometrical product specifications ((GPS) – Decomposition of geometrical characteristics for manufacturing control	IDT	第2条の該当号: 2(生産方法) 対象事項: 鋳工業品全般	法律の目的に適合している。	利点: ア、オ 欠点: いずれも該当しない。		国際規格をJIS化するもの	公益社団法人日本設計工学会のWG	2026年4月		2
JSA	08 機械要素	制定	B2353	油圧・空気圧用及び一般用途用金属製管継手－油圧用継手の試験方法	Metallic tube connections for fluid power and general use – Test methods for hydraulic fluid power connections	油圧用継手の試験方法を規定したJIS B 2351-5(油圧・空気圧用及び一般用途用金属製管継手－第5部:油圧用ねじ継手の試験方法)は、ISO 8434-5(Metallic tube connections for fluid power and general use－Part 5: Test methods for threaded hydraulic fluid power connections)を基に、2000 年に制定された。その後、ISO 8434-5は廃止され、ISO 19879(Metallic tube connections for fluid power and general use－Test methods for hydraulic fluid power connections)が2005年に制定され、さらに2010年に改訂されたため、この2010年版を対応国際規格として、2012年に改正された。 JIS B 2351-5は、元々油圧用のねじ付き金属製管継手を対象とした試験規格であるため、ISO 19879に規定するフランジ継手については除外されていた。また、「真空試験」及び「振動を伴う衝撃圧試験」は、JIS B 2351-1(油圧・空気圧用及び一般用途用金属製管継手－第1部:24° くい込み式管継手)(対応国際規格ISO 8434-1)に規定されていないことから除外されていた。その後、ISO 19879は、用語と使用管選択方法の明確化を主な目的とし、2021年に第3版として改訂されている。 今回、フランジ継手にまで対象範囲を広げ、試験の種類を増やし、さらに国際規格と整合させるために、部編成ではない個別の規格として制定する必要がある。 なお、これに伴いJIS B 2351-5は廃止する予定である。	この規格の制定を行うことによって、試験の対象範囲が広くなるとともに、試験の種類も増加する。また、技術的内容が対応国際規格に整合することで、国際的な互換性を確保することが可能となり、取引の公正化及び相互理解の促進を図ることが期待されるとともに、国際競争力の向上に期待が持てる。	主な規定項目は、次のとおり。 ・適用範囲 ・引用規格 ・用語及び定義 ・一般要求事項 ・試験装置 ・繰返し結合試験 ・漏れ試験 ・耐圧試験 ・破壊試験 ・耐衝撃圧試験 ・真空試験 ・過締付試験 ・振動試験 ・振動を伴う隊衝撃圧試験 ・規格適合表示	B2351-5	ISO 19879:2021 Metallic tube connections for fluid power and general use – Test methods for hydraulic fluid power connections	IDT	第2								

